

テストの受け方について

大半の人が、来年早々に入試を受けます。今の生活態度で問題ない人もいますが、心配な人もいます。大事な入試に行く前に必要なことについて確認しておくので、自分自身を振り返ってみて下さい。「まだ早い！」と思うかもしれませんが、早め早めの心構えと準備が当日の余裕につながります。第4回の診断テストや、3年生最後の期末テストも実践の場になります。

やらなければいけないこと、やってはいけないこと（＝ルール）、そしてやった方がいいこと（＝マナー）を時間の流れに沿って書きますので、イメージしてみてください。

1 試験前（集合から入室、試験開始まで）

- (1) 早め早めの行動を心掛け、「余裕」を自分で作る。
（入試会場までの下見をして、当日の交通手段について家庭で確認しておこう。）
- (2) 集合したときや教室で待つときに私語をしない。
- (3) 姿勢よく待ち、視線に気をつける。
- (4) 問題用紙などを回すときの行動。試験監督をしているときに、後ろの友達にニヤッとするだけでも気になることがあります。

2 試験中

- (1) 必ず最初に名前を書く。「後で書こう」は忘れる危険性があります。
- (2) 問題1から解かなくてもいいので、できる問題から解いて、自分を落ち着かせる。
- (3) 誤解を招くような行動をしない。
（視線に気をつける。姿勢を崩したり、寝たりするのは厳禁です。）
- (4) 早く終わったときの時間の使い方に気をつける。視線や姿勢でマイナスにならないためにも、解き直しや見直しをしながら、残り時間を有効に使おう。

3 休み時間

- (1) 答え合わせはせずに、次の時間の準備をする。
自分が解けたかどうか不安な問題は、間違えている場合も多いもの。そのため、がっかりしながら次の教科のテストに向かうことは得策ではない。
- (2) トイレに行き、自分の席に戻り静かに過ごす。気持ちの余裕を作ろう。

4 面接

- (1) 面接が始まるまでの控え室での行動。そこも見られています。
- (2) 答える内容や、面接会場に入るときの言動について、イメージトレーニングをしておく。

5 試験終了後（退室から校外に出るまで）

- (1) 校外に出るまでだけでなく、家に帰るまで緊張感を持つ。
- (2) 家に着いたら静かに家で過ごす。（思っている以上に疲れています。）

保護者の皆様へ

ご多用とは存じますが、14日（金）の高校説明会へのご参加をよろしくお願いいたします。当日は、各高校の説明会後、公立高等学校入試実施細目およびインターネット出願システムについて説明します。インターネット出願に関しましては、保護者の皆様への説明にしますので、お子様は入試実施細目の説明を聞いた後、下校します。事前にお知らせしている終了時刻よりも、20分程度伸びる予定です。ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただけますようお願いいたします。